

社協ふないり

発行 舟入地区社会福祉協議会

発行責任者 会長 福井 彰

住所 広島市中区舟入南3丁目6-15

唯信寺内 パルティア 1階

電話 082-503-2405

令和5年度舟入地区敬老会中止について

舟入地区社会福祉協議会 会長 福井 彰
 コロナが5類に移行されたとはいえ、収束する
 気配はなく、あちこちで感染の話聞く今日この
 頃です。7月の理事会において、協議を重ねた結
 果、コロナの状況、会場の広さを考えると、感染
 を防ぐことが出来ないと結論に達し、中止をせざる
 をえないことになりました。みなさまには、楽
 しみにされていたことと存じますが、事情をご理
 解頂き、ご協力をよろしくお願いいたします。



舟入小学校校庭みぞ掃除

舟入小学校 PTA 会長 小玉 晃一郎
 5月27日(土) 新型コロナ拡大の影響でできな
 かった校庭の側溝掃除が、4年ぶりに、先生・児
 童・各団体の皆様に参加して頂き、実施されま
 した。

朝一番に側溝の蓋を外してみると、雨で校庭な
 どの土や砂が側溝や雨水桝に沢山溜まっていま
 した。清掃が始まると、誰が言うことなく分か
 れて大変そうな場所や、自分たちが持っている道具
 を考えながら土をすくい、土のう袋に入れ、皆で
 一心不乱に行いました。側溝清掃は重たい蓋を上
 げたり下ろしたり、泥土を掻き出したり、とても
 重労働です。それでも、みんなで声を掛け合い
 進めたので作業も捗りました。今年は校庭全ての
 泥土を掻き出すことは無理かな？と思っていた
 のですが、あっという間に作業が終わり、側溝が
 きれいに！きれいになって、心も気持ちもすっ
 きり。

これからも、子供たちや、地域のお役にたてる
 ことをみんなですこしずつ、楽しみながらやっ
 ていきたいと改めて思いました。

そして最後に、朝早くから参加された皆様、本
 当にお疲れ様でした。



舟入川西町内会長 古田隆重氏ご逝去

去る4月24日、舟入川西町内会長古田隆重氏
 が病氣療養中のところ薬石効なく、ご逝去されま
 した。お亡くなりになる寸前まで、舟入地区公衆
 衛生推進協議会会長として、責務を全うされまし
 た。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

舟入川西町内会会長に 上岡哲也氏 就任

上岡氏就任の挨拶

この4月に故古田氏のあとを引き継ぎ会長と
 なりました。私は令和2年より、副会長として町
 内会の運営に携わってきました。コロナ禍で町内
 会活動の停滞が続いておりましたが、本年度から
 再び活気を取り戻そうとしている中、町内のみな
 さんとコミュニケーションを大事にしながら、活
 動を進めて行きたいと思っております。未熟な点が多々
 あると思っておりますが、今までと変わらぬご理解とご
 協力をいただきますよう、何卒よろしくお願い致
 します。

第8回舟入学区町内ユニカール大会開催

舟入学区体育協会 副会長 小田 徹
ユニカールは、スウェーデンで考案され、日本には1980年代に紹介されました。年齢・体力に関係なく多世代でプレー出来る楽しく奥深い生涯スポーツです。

舟入学区では舟入体協・舟入地区青少協・スポーツ推進委員と協力し地域を挙げてユニカールの普及に努め、舟入小学校のクラブ活動にもユニカールが取り入れられてすそ野が広がっています。

去る、7月9日(日)舟入小体育館において、舟入地区青少協の協賛のもと、第8回舟入学区町内ユニカール大会が開かれました。三世代にわたる地域の町内・各種団体の皆様が参加した21チームによる賑やかな大会となりました。

試合の勝ち負けもさることながら、チームワークを発揮しての作戦や投球の失敗をカバーし合っている笑顔が世代を超えて弾けていました。

大会の頂点には、ユニカール初心者も含んだ3世代チームが輝き、ユニカールの面白さ・愉しさ・奥深さが出た大会となりました。

このように、ユニカールは多世代が健康に楽しめる生涯スポーツであるとともに、青少年の健全育成にも資するスポーツと言えます。



パルティア健康サロン「防災講座」

江波地域包括支援センター 奥田 郁子
舟入地区社会福祉協議会の活動拠点である唯信寺パルティア1階事務所で第2金曜日に「健康サロン」を開催。介護予防、健康、暮らしに役立つ講座を開いています。

6月9日の健康サロンでは公民館の職員で防災士でも活躍されている弘中新太郎氏と舟入地区自主防災会連合会会長佐藤清純氏に講師を依頼し【防災】に関する講座を行いました。

舟入地区で予測される災害をハザードマップ等見て確認し、南海トラフ時に予測される災害や津波の動画などを見て、日頃の備えや心構えなど話して頂きました。

まず、災害について我が事として考える事、自身が住んでいる場所にどのような災害が予測され、どこに逃げたらいいのか確認しておく事、マイタイムラインなど作成して災害時の避難行動などイメージしておくことの大切さを学びました。

舟入地区は「災害の少ない場所だから大丈夫」と話されていた参加者も高潮や津波時の浸水の深さ、範囲などを知り、備えの必要性を実感したと話されていました。

台風や豪雨が心配される時期になりました。何事もないことが一番ですが、災害への備えを再確認して頂ければと思います。

